

令和5年度

事業報告書

社会福祉法人 山口県共同募金会

<はじめに>

令和5年度の共同募金運動は、5月に新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが季節性インフルエンザと同等に変更されたことに伴い、街頭募金やイベント募金が再開・拡大されるなど活発化してきました。しかしながら、依然として長期化したコロナ禍による経済等への影響は残っており、さらに、その後の物価の上昇などもあって、令和5年度も引き続き厳しい環境の中での募金活動となりました。

この結果、令和5年度の募金実績は、3億1,459万円余(対前年度比95.6%)となり、前年度を1,448万円余下回る大幅な減少となりました。募金の内訳では、戸別募金が、人口の減少や高齢化の進展などにより減少が続いており、法人募金や個人募金についても大幅な減少となりましたが、コロナ禍の制約がなくなった街頭募金やイベント募金は、前年度を上回る募金実績となっています。また、テーマ募金は、認定団体が1団体減少したものの、4団体が目標額を上回り、合計でも昨年度を上回る実績となりました。さらに、9年目を迎えた「UMOUプロジェクト in 山口」は、行政との連携が進んだことなどから、初めて実績が100万円を超えました。

一方、助成については、長期化したコロナ禍やその後の急激な物価高による経済的な困窮、社会的孤立などへの対応として、中央共同募金会が展開する全国キャンペーンに呼応して、ポスト・コロナ対策に重点的に取り組むとともに、令和3年度から県社会福祉協議会と連携して取り組んでいる「特別助成プログラム」については、引き続き「ひきこもりの人」や「ヤングケアラー」の支援団体に対し助成を行うこととし、3年目となる令和5年度は、広域的な展開や支援活動の充実などが図れるよう、一部助成上限額を引き上げたところです。加えて、山口県令和5年6月30日からの大雨災害では、災害ボランティアセンター等の設置運営経費の助成を行うとともに、令和6年能登半島地震災害では、被災地支援のため災害等準備金の拠出を行いました。

共同募金の現状は厳しさを増していますが、ポスト・コロナ社会に向けた継続的な支援をはじめ、社会的孤立、引きこもり、ヤングケアラー等の新たな福祉課題、さらには、近年頻発している大規模自然災害への対応など、支援ニーズは増大、多様化しており、共同募金の果たすべき役割はますます重要になっています。

本会としては、こうしたニーズに的確に応え、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、今後とも、市町共同募金委員会と一体となって、「共同募金の運動性の再生10年方針」(平成30年3月策定)に沿って、共同募金運動を積極的に推進してまいります。

<事業の実績>

1 共感できる募金の推進

市町共同募金委員会との連携のもと、地域の解決すべき課題等を把握し、地域住民にしっかり示した上で、戸別募金や職域募金等の推進を図るとともに、「募金百貨店プロジェクト」や「UMOUプロジェクト in 山口」、「ガチャガチャ募金」などの新たな募金手法の充実強化に取り組みました。

(1) 明確に説明できる目標額の設定

共同募金は計画募金であり、県全体で必要となる資金ニーズや公募結果等を踏まえた目標額を設定するとともに、広く周知を図りました。

○目標額	一般募金	255,290千円
	地域歳末たすけあい募金	74,200千円
	NHK歳末たすけあい募金	8,000千円
	赤い羽根テーマ募金	4,200千円
	合 計	341,690千円

※募金総額：314,590千円余（前年度：329,073千円余）

(2) 従来の募金手法の取組

戸別募金や法人・職域募金等、従来の募金手法を活用した募金に積極的に取り組みました。

ア 一般募金（付属資料P2、P4～5）

実 績：233,492千円余（前年度：243,834千円余）

(ア) 戸別募金（付属資料P5）

実 績：171,581千円余（前年度：175,586千円余）

市町共同募金委員会に対して募金資材の斡旋や取組への支援を行うとともに、マスコミへの情報提供、ポスターによる広報活動等を行いました。

(イ) 法人・職域募金（付属資料P5）

実 績：35,394千円余（前年度：39,140千円余）

県共同募金会と市町共同募金委員会との役割分担のもと、それぞれ法人・職域への募金の依頼や呼びかけ等を行いました。

(ウ) 街頭募金・イベント募金（付属資料P5）

実績：8,662千円余（前年度：6,040千円余）

新型コロナウイルス感染症による制限がなくなったことから、街頭募金やイベント募金に積極的に取り組みました。

(I) **学校・子ども会募金**（付属資料P5）

実績：3,270千円余（前年度：4,000千円余）

学校での募金活動や県子ども会連合会と連携した組立式募金箱の提供による募金活動が行われました。

(オ) **その他**（付属資料P5）

実績：14,584千円余（前年度：19,066千円余）

個人や団体などから募金が寄せられました。

イ **地域歳末たすけあい募金**（付属資料P2、P6）

実績：70,860千円余（前年度：74,027千円余）

市町共同募金委員会において、歳末に支援が必要な方々のための募金活動を実施しました。

ウ **NHK歳末たすけあい募金**（付属資料P2、P13）

実績：4,318千円余（前年度：5,518千円余）

NHK山口放送局において、募金の開始式を実施するとともに募金受入窓口を設置し、放送により広く募金を呼びかけました。

(3) **新たな募金手法の取組**

募金の確保を図るため、新たな募金手法に積極的に取り組みました。

ア **赤い羽根テーマ募金**（付属資料P2、P7）

実績：5,919千円余（前年度：5,692千円余）

赤い羽根テーマ募金取組団体に認定された6団体が、赤い羽根を掲げて、自らの活動を直接PRし、募金活動を実施しました。

イ **募金百貨店プロジェクト**（法人募金の内数、付属資料P8）

実績：6,479千円余（前年度：5,898千円余）

企業・団体等が、“寄付つきの商品・企画”を販売し、売上の一部を赤い羽根共同募金に寄付する「募金百貨店プロジェクト」の活性化に向けて、各市町共同募金委員会を訪問し、現状や今後の取組について意見を交換しました。

ウ **UMOUプロジェクト in 山口**（法人募金の内数、付属資料P8）

実績：1,065千円余（前年度：931千円余）

使われなくなった羽毛製品のリサイクル収益金を寄付金とする「UMOUプロジェクト in 山口」の推進に市町共同募金委員会と共同で取り組みました。行政との連携も着実に進んでおり、初めて募金額が100万円を超えました。

▽下松タウンセンター「キラル」30周年記念コラボ事業『羽毛回収から学ぶ赤い羽根とSDGs』（8月8日）※下松高校協力

エ ガチャガチャ募金（一般募金の内数、付属資料P8）

実績：1,172千円余（前年度：1,044千円余）

赤い羽根応援大使レノ丸と赤い羽根との新デザインのコラボ缶バッジを作成し、その一部に選手のサインを入れたことや、市町共同募金委員会によるガチャガチャ本体の増設等の取組により、2年連続で前年度の実績を上回りました。

2 共同募金運動推進のための取組

共同募金運動の一層の推進を図るため、福祉教育による寄付文化の浸透を図るとともに、様々な場面や機会を活用して赤い羽根のPRに努めました。

(1) 福祉教育による寄付文化の浸透

寄付文化の浸透を図るため、山口県立大学学生サークルMEP（未来を笑顔にプロジェクト）や下松高等学校の生徒と連携し、赤い羽根を活用した福祉教育に取り組みました。

▽出前授業

- ・大内中学校（6月7日、14日）※MEP協力

▽その他

- ・秋穂児童にこここ学級における「寄付の教室『Let's 工作 募金箱～作って学ぼう赤い羽根～』（山口市共同募金委員会主催）の実施（7月28日）
- ・下松タウンセンター「キラル」30周年記念コラボ事業『羽毛回収から学ぶ赤い羽根とSDGs』（8月8日）※下松高校協力（再掲）
- ・令和5年度学生ボランティア会議（山陽小野田市社会福祉協議会主催）における赤い羽根共同募金の講座の開催（8月22日）

(2) 赤い羽根のPR

赤い羽根共同募金運動の気運醸成を図るため、赤い羽根の着用を促進するとともに、様々な場面で赤い羽根が目に触れる環境づくりを進めました。

ア 赤い羽根キックオフイベントの実施（10月1日）

4年ぶりにゆめタウン山口において、キックオフイベントを開催しました。

イ 寄付金贈呈式等を活用したPR

新型コロナウイルス感染症対策を講じた上で、寄付金贈呈式や助成決定通知書交付式（4月20日）を実施しました。

ウ 赤い羽根着用の働きかけ

一般住民と接する機会の多い金融機関の窓口職員や、放送を通じてPRできるマスコミ関係者に対して、運動開始時の赤い羽根着用に働きかけました。

エ オリジナルバッジ等によるPR

レノファ山口FCの協力を得て、赤い羽根×レノ丸バッジを作成し、募金資材や赤い羽根PR資材として活用しました。

オ 赤い羽根共同募金パンフレットの作成

赤い羽根共同募金の実績や使い道を分かりやすく記載した「赤い羽根レポート2022」を作成し、赤い羽根共同募金の理解促進を図りました。

カ 遺贈・相続寄付に関するパンフレットの作成（新規）

山口県版の遺贈・相続寄付に関するパンフレットを作成し、県内の弁護士会や司法書士会等の関係団体に配布するとともに、相談者への情報提供を依頼しました。

キ ホームページ等によるPR

赤い羽根共同募金運動や本会の事業等について、ホームページやフェイスブックを通じた情報発信に努めました。

3 地域ニーズを反映した助成

共同募金の使命である地域福祉の充実を図るため、市町共同募金委員会と連携し、地域ニーズを的確に把握して助成を行うとともに、助成した活動の内容や成果を赤い羽根レポートやホームページに掲載し、情報発信に努めました。

また、県域公募助成の助成団体に対し、活動内容の充実に向けて、配分委員会における意見等をフィードバックするとともに、県社会福祉協議会と連携し、「特別助成プログラム」による重点的な支援を行いました。

(1) 県域助成

ア 公募助成（附属資料P9～10）

実績：32件 27,490千円 ※内1,010千円はNHK歳末から充当
（前年度：27,900千円）

関係団体等への通知や本会ホームページへの掲載等を通じて幅広く広報し、適切な助成となるよう努めました。また、活動内容等の充実に向けて、配分委員会における意見等を助成団体にフィードバックしました。

イ 赤い羽根 ポスト・コロナ社会に向けた福祉活動応援キャンペーン 生活困窮者への緊急支援活動助成（新規）

実績：0件

中央共同募金会の委託により、市町社会福祉協議会が、生活困窮者に対し生活相談時に配布する食料や日用品の整備等に要する経費の助成を行うこととしましたが、申請がありませんでした。

ウ 赤い羽根テーマ募金助成（付属資料P17）

実績：6団体 5,919千円余（前年度：5,692千円余）

DV被害女性等の支援や子育て家庭の支援など、テーマ募金認定6団体を取り組む活動に対し助成を行いました。

エ 特別助成プログラム

事業費：6,000千円（前年度：4,000千円）

「特別助成プログラム」として、「ひきこもりの人」及び「ヤングケアラー」を支援する団体に対して公募助成を行っており、3年目となる令和6年度の事業実施分については、継続団体の助成上限額を引き上げ、さらなる活動の拡充を支援することとしました。

《参考》

令和4年度事業（令和5年度実施分）実績：12件 2,713千円

(ア) 「ひきこもりの人」を支える赤い羽根プロジェクト

団体名	所在地	活動内容	助成額(円)
NPO法人 ふらっとコミュニティ	宇部市	家族・支援者向けの研修会	300,000
えこの里	防府市	居場所づくり、就労移行支援	300,000
曾根地区福祉の輪づくり運動推進委員会	平生町	民生・児童委員、ふれあい推進委員、学校関係者向け研修会	25,000
NPO法人 Nest	下関市	居場所づくり、就労移行支援	300,000
ふれあいいきいきサロンドレミ	防府市	ひきこもりの人の居場所づくり	200,000
わいわい集いの場ネットワーク	下関市	ひきこもり世帯へのフードパントリー	150,000
(福)扶老会	宇部市	居場所提供、就労訓練	285,000
山口県きらら会	長門市	居場所提供、就労訓練	172,000
計			1,732,000

(イ) 「ヤングケアラー」を支える赤い羽根プロジェクト

団体名	所在地	活動内容	助成額(円)
認定NPO法人 山口せわやきネットワーク	山口市	フードパントリー	282,000
さばっこの会	防府市	フードパントリー、関係機関への繋ぎ支援	300,000
NPO法人 コネクト・ワン	周南市	居場所づくり、繋ぎ支援、普及啓発	300,000
地域食堂ふらっと	美祢市	フードパントリー	99,000
計			981,000

(2) 地域福祉事業費助成 (付属資料P 1 1)

実績：176,482千円余 ※内15,613千円余は地域歳末から充当
(前年度：186,984千円余)

市町共同募金委員会において小地域福祉活動（地区社会福祉協議会、自治会等）への助成を行うとともに、新たな地域課題を踏まえた活動への助成を促進しました。

(3) 地域歳末たすけあい募金助成 (付属資料P 1 2)

実績：55,246千円余 (前年度：55,247千円余)

各市町共同募金委員会において、高齢者や障害者などの支援が必要な方々に対し助成を行いました。また、地域福祉事業費助成の財源の一部を充当しました。

(4) NHK歳末たすけあい募金助成 (付属資料P 1 4～1 6)

実績：4,009千円余 ※内1,010千円は県域公募助成に充当
(前年度：5,284千円余)

児童養護施設や障害児施設等の子どもたちへのお年玉プレゼント、児童養護施設等から自立する児童に対する支援を行うとともに、県域公募助成財源の一部を充当しました。

(5) 使途の明確化

共同募金の使途が寄付者に明確に伝わるよう、ホームページやフェイスブックに「ありがとうメッセージ」を掲載するとともに、募金実績や使途などをまとめた活動報告書「赤い羽根レポート2022」を作成しました。

(6) 配分委員会の開催等

助成の適正な実施を図るため、配分委員会による現地調査、ヒアリング及び審議を行いました。

- ・配分委員会の開催：7月19日、8月29日、12月6日、2月29日
- ・現地調査：5団体、3日間
- ・ヒアリング：23団体、5日間

4 組織運営

本会の適切な運営を図るため、理事会及び評議員会等を開催するとともに、市町共同募金委員会との緊密な連携を図り、共同募金運動の一層の推進に努めました。また、職員の資質向上のため様々な研修に積極的に参加しました。

(1) 理事会及び評議員会等の開催

- ・理事会：6月6日、9月11日、3月15日
- ・評議員会：6月26日、9月20日、3月25日
- ・監事監査：5月25日
- ・市町共同募金委員会事務局長・担当者会議
 - 6月14日（オンライン）
 - 8月24日（赤い羽根山口ミーティング、県社会福祉会館）
 - 2月27日（オンライン）
- ・市町共同募金委員会新任職員研修：6月9日（県社会福祉会館）

(2) 研修会への参加

職員の資質向上を図るため、研修会等に積極的に参加しました。

ア 中央共同募金会主催の研修会等

- ・4月25・26日 第1回都道府県共同募金会職員会議（東京）
- ・6月22日 オンラインサロン「地域活動の持続と発展を支える助成」
- ・7月3・4日 赤い羽根全国ミーティング（東京）
- ・10月6日 オンラインサロン「不適正事案の発生防止」
- ・10月11日 ランチョンセミナー「インボイス&電子帳簿保存方法解説」（オンライン）
- ・11月1・2日 都道府県共同募金会職員研修会（東京）

イ その他の研修会等

- ・9月28日 社会福祉法人研修会（日本公認会計士協会中国会主催）

- ・ 10月～12月 業務プロセスの可視化・改善スキル習得セミナー（計3回、岩国市社会福祉協議会主催）
- ・ 10月27日 ヤングケアラーへの支援を学ぶ研修会（山口県主催）
- ・ 12月15日 ふたつのそうぞくセミナー（明治安田生命、山口銀行主催）

(3) 市町共同募金委員会への支援

市町共同募金委員会による共同募金運動推進の取組に対して、共同募金運動推進強化特別支援事業により支援しました。（10市町共同募金委員会）

(4) 県社会福祉協議会との連携

共同募金計画については、県社会福祉協議会の意見を踏まえて策定するとともに、県社会福祉協議会が策定した「福祉の輪づくり運動推進県域活動計画」の推進を図るため、「特別助成プログラム」を拡充しました。

5 その他多様な取組

(1) 災害等準備金の積立及び取崩し（付属資料P18～20）

被災地でのボランティア活動をサポートする災害ボランティアセンター等の設置・運営経費を支援するため、令和5年度共同募金実績の3%相当額を災害等準備金に積み立てました。

また、山口県令和5年6月30日からの大雨災害に係る災害ボランティアセンターの設置・運営等の経費について、災害等準備金から助成を行うとともに、令和6年能登半島地震に係る災害ボランティアセンターの設置・運営等を支援するため、全国の共同募金会と連携して災害等準備金を拠出しました。

- ・ 災害等準備金積立額：9,437千円（前年度：9,872千円）
- ・ 災害等準備金による助成：4,017千円余（前年度実績なし）
- ・ 災害等準備金の他県への拠出：3,996千円余（前年度実績なし）

(2) 災害義援金の募集等

山口県、日本赤十字社山口県支部、NHK山口放送局、NHK厚生文化事業団と共同で「山口県令和5年6月30日からの大雨災害義援金」を募集しました。

また、全国の共同募金会が実施した災害義援金の募集に協力しました。

- ・ 山口県令和5年6月30日からの大雨災害義援金：37,019千円余
- ・ 他県受入災害義援金取扱額：10,522千円余（前年度：538千円余）

山口県令和5年6月30日からの大雨災害義援金の配分結果

① 災害義援金の受付状況

区 分	受付額	備 考
山口県共同募金会受付額	37,019,674円	うち中央共募分 2,713,295円
日本赤十字社受付額	87,567,828円	うち本社分 79,706,485円
計	124,587,502円	

② 災害義援金の配分状況

ア 配分の考え方

日本赤十字社災害義援金取扱規程及び同制定通知（平成11年2月制定、平成23年6月改正）に定める配分基準を踏まえ、被害の状況に応じて以下の係数で按分し、関係市町に配分する。（被災者への配分方法は、各市町の配分委員会で決定。）

【配分係数】

死亡 10、重傷 5、全壊10、半壊 5、床上浸水 1

市町名	被 害 状 況					配分係数の合計
	死亡	重傷	全壊	半壊	床上	
下 関 市		1		58		295
宇 部 市					15	15
山 口 市	1			76	105	495
防 府 市					1	1
美 祢 市			2	70	88	458
山陽小野田市					13	13
計	1	1	2	204	222	1,277

※ 行方不明者1名（長門市）については、同居親族がいないため、災害弔慰金の支給基準や他県の取扱い等を踏まえ支給対象外となった。

【配分単価】

97,563円

124,587,502円（配分金額）÷1,277（係数合計）≒ 97,563円

イ 市町ごとの配分額

（単位 円）

市町名	第1回配分	第2回配分	第3回配分	合 計
下 関 市	10,974,743	8,732,680	9,073,558	28,780,981
宇 部 市	548,737	453,335	461,368	1,463,440
山 口 市	17,340,096	19,068,532	11,884,883	48,293,511
防 府 市	36,582	30,223	30,758	97,563
美 祢 市	16,974,270	13,622,339	14,087,084	44,683,693
山陽小野田市	475,572	392,891	399,851	1,268,314
計	46,350,000	42,300,000	35,937,502	124,587,502

(3) 被災者への見舞金の支給（付属資料P 2 1）

県内の火災等による住居の喪失や死者の発生に際して、被災者等に見舞金を支給しました。

実績：78件 1,320千円（前年度：1,440千円）

(4) 民間資金による助成事業への協力

地域福祉を推進するための民間助成事業について、推薦等の協力をしました。

ア 中央競馬馬主社会福祉財団

法人名	施設名	所在地	助成額(円)	事業内容
(福)ひとつの会	特別養護老人ホーム 自由の杜	防府市	1,970,000	特殊浴槽設置
(NPO)むつみ会	就労継続支援B型事業 はなぶさ	宇部市	1,970,000	1BOX 2000CC
(福)立正たちばな会	多機能型事業所 はっぴーはうす	岩国市	1,240,000	軽自動車
(福)高嶺会	障害支援施設 高嶺園	宇部市	1,530,000	天井走行リフト
合 計			6,710,000	

イ 篠原欣子記念財団 子ども食堂応援プログラム（付属資料P 2 2）

山口県こども食堂・子どもの居場所ネットワーク（「子ども食堂応援宣言！」ステッカーの作成・配布） 450千円

ウ 三菱電機SOCIO-ROOTS基金（付属資料P 2 3）

法人名	施設名	所在地	助成額(円)	事業内容
(福)吉敷愛児園	吉敷愛児園	山口市	120,000	防滴型ワイヤレスアンプ
(福)防府海北園	防府海北園	防府市	120,000	冷蔵庫、乾燥機、掃除機ほか
(福)共楽園	共楽養育園	周南市	120,000	デジタルカメラ（2台）
合 計			360,000	

エ 毎日新聞西部社会事業団（付属資料P 2 4）

財団法人 山口県肢体不自由児協会（肢体不自由児の研修） 100千円

(5) 受配者指定寄付金

指定した社会福祉法人等の公益法人に寄付をすることができる「受配者指定寄付金」については、該当がありませんでした。

(6) 共同募金協力者等に対する顕彰

共同募金運動の推進に功績のあった個人や団体の推薦や顕彰を行いました。

ア 厚生労働大臣表彰（1団体）

表彰種別	受賞者	市町名	備考
奉仕団体	和木町老人クラブ連合会	和木町	全国社会福祉大会 令和5年11月15日 浅草公会堂

イ 中央共同募金会会長表彰等（2人、2団体）

表彰種別	受賞者	市町名	備考
奉仕功労者	井上博己	宇部市	全国社会福祉大会 令和5年11月15日
〃	松田保美	〃	
地区・団体	一般社団法人山口県子ども会連合会	山口市	浅草公会堂
感謝楯	株式会社シマダ	山口市	令和5年10月20日、懶シマダ

ウ 山口県知事表彰（1人、2団体）

表彰種別	受賞者	市町名	備考
奉仕者	笠井泰孝	宇部市	山口県総合社会福祉大会 令和5年10月27日 スターピアくだまつ
奉仕団体	周東町自治会連合会	岩国市	
〃	株式会社トクヤマグループ	周南市	

エ 山口県共同募金会会長表彰等（26人、17団体）

表彰種別	受賞者	市町名	備考
奉仕者	花形正和	下関市	山口県総合社会福祉大会 令和5年10月27日 スターピアくだまつ
〃	梅尾俊行	〃	
〃	伊妻孝	宇部市	
〃	松戸芳明	〃	
〃	大谷欣士	〃	
〃	伊藤哲夫	〃	
〃	伊藤淳司	〃	
〃	三戸和寿	〃	
〃	有部正治	〃	
〃	稲原輝昭	萩市	
〃	河田直子	〃	

奉仕者	新谷正子	萩市
〃	荒川芳正	〃
〃	亀井江美子	〃
〃	久保田恵里	〃
〃	濱村正義	〃
〃	蒲真由美	〃
〃	林博	防府市
〃	橋本守	〃
〃	水田愛子	山陽小野田市
〃	森本哲子	〃
〃	田中サチ子	〃
〃	長坂日出男	〃
奉仕団体	瀬戸内部品株式会社 萩製造所	萩市
〃	岩国市立高森小学校	岩国市
〃	岩国市立そお小学校	〃
〃	岩国市立米川小学校	〃
〃	岩国市立修成小学校	〃
〃	岩国市立川上小学校	〃
〃	岩国市立周北小学校	〃
〃	日本ゼオン株式会社 徳山工場	周南市
〃	日鉄ステンレス株式会社製造本部 山口製造所（周南エリア）	〃
従事者	松村亮	和木町
感謝	白石義彦	防府市
〃	河村征則	周南市
〃	岩国西商工会	岩国市
〃	周東建設株式会社	〃
〃	社会福祉法人豊心会 ケアハウス ス秀東館	〃
〃	防長石油株式会社	〃
〃	光井興産有限会社	〃
〃	有限会社きくがわ	〃
〃	岩国ゴルフ協会	〃
〃	合同会社ほけんプラザ	〃